

コウノトリの足輪付け (5月26日 (火))

伊佐小学校の近くにある巣塔では、2羽のコウノトリのヒナがすくすくと大きく成長しています。今日、コウノトリの郷公園より職員の方が来られて、2羽のヒナに足輪をつける作業が行われました。足輪は、コウノトリの個体を識別するためのもので、生まれて40日くらいが足輪をつけるのにちょうどいい時期だそうです。

学校は休校なので、学童クラブの児童がその作業を見学させていただきました。親鳥の様子に気を配りながら、慎重に巣塔からヒナを降ろし、体重を量ったり、血液を採取されたりなど健康状態を調べてから、足輪をつけられました。2羽とも元気だそうです。2羽の雌雄は、後日教えていただけるそうです。伊佐小学校では、この巣塔で育ったコウノトリのヒナに名前をつけさせていただいています。良い名前がつけられればいいですね。

2羽のヒナが巣から飛び立てるようになるまでには、後30日ほどかかるそうです。6月末から7月はじめに、巣立ちが期待されます。



コウノトリの郷公園の方にお話を聞きました。



雨の中、慎重にヒナを降ろします。



ヒナの健康状態を詳しく調べておられました。



色のついた足輪をつけています。



雨の中の作業となりました。



遠くから親鳥が心配そうに様子を見ていました。